図版出典一覧

本書における頁、図・写真・表番号を先に示し、その次にその出典や注などを記した。
ここに出典を掲げていない図・表は、本書刊行にあたり新たに作成したものである。
図にはとくに断らなくても加筆・削除など一部に改変を加えたものがある。

Ⅰ－1　木簡の内容と型式

10頁　写真1
　－①②③　奈文研所蔵。
11頁　写真2
　－①～⑤　奈文研所蔵。
11頁　写真3　奈文研所蔵。

Ⅰ－2　木簡の書風と書式

12頁　写真1
　－①②　木簡学会『木簡研究』22、2000年、より転載。（財）大阪府文化財センター掲載許可済。
　③　奈文研所蔵。
13頁　写真2　奈文研所蔵。
13頁　写真3
　－①　長野県立歴史館所蔵。一部改変。
　②　木簡学会『木簡研究』20、1998年、より転載。兵庫県教委掲載許可済。
　③　奈文研所蔵。

Ⅰ－3　木簡の製作と廃棄

14頁　図1　山中　章「考古資料としての古代木簡」『木簡研究』14、木簡学会、1992年。一部改変。
14頁　写真1　向日市教委所蔵。掲載許可済。
15頁　写真2
　－①④　奈文研所蔵。
　②　木簡学会『日本古代木簡集成』東京大学出版会、2003年、より転載。長野県立歴史館掲載許可済。
　③　木簡学会『日本古代木簡集成』東京大学出版会、2003年、より転載。新潟県和島村教委掲載許可済。

Ⅰ－4　墨書土器・刻書土器

17頁　図1　奈文研『奈良国立文化財研究所30周年記念史料（史料第25冊）　平城宮出土墨書土器集成Ⅰ』1983年。同『奈良国立文化財研究所史料第31冊　平城宮出土墨書土器集成Ⅱ』1989年。同『奈良文化財研究所史料第59冊　平城宮出土墨書土器集成Ⅲ』2003年。
18頁　図2　奈文研『平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書』奈良県教委、1985年。
18頁　図3　島根県古代文化センター『島根県古代文化センター調査研究報告書第14　山陰古代出土文字資料集成Ⅰ（出雲・石見・隠岐編）』2003年。
19頁　図4　藤枝市埋文調査事務所『日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ　－奈良・平安時代編－志太郡衙跡（御子ヶ谷遺跡・秋合遺跡）』藤枝市土地開発公社・藤枝市教委、1981年。一部改変。
21頁　図5　千葉県史料研究財団『千葉県の歴史　資料編古代別冊　出土文字資料集成』千葉県、1996年。
22頁　図6　千葉県史料研究財団『千葉県の歴史　資料編古代別冊　出土文字資料集成』千葉県、1996年。
23頁　図7　千葉県史料研究財団『千葉県の歴史　資料編古代別冊　出土文字資料集成』千葉県、1996年。
25頁　図8
　－1　**福岡県狐塚横穴Ⅰ－1**　大任町教委『大任町文化財調査報告書第1集　狐塚古墳群』1976年。
　2～4　**島根県上塩冶横穴墓群第15支群1号横穴**　島根県教委『斐伊川放水路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ　大井谷石切場跡・上塩冶横穴墓第14支群・上塩冶横穴墓第15支群・上塩冶横穴墓第16支群』島根県教委ほか、1997年。
　5　**島根県石田遺跡**　島根県埋文調査センター『石田遺跡Ⅲ』島根県教委ほか、1998年。
　6　**愛媛県久米官衙遺跡**　松山市教委・松山市立埋文センター『平成元年～2年度　松山市埋蔵文化財調査年報Ⅲ』1991年。
　7　**福岡県宮ノ本4号窯跡**　太宰府市教委『太宰府市の文化財第10集　宮ノ本遺跡Ⅱ　－窯跡編－』1992年。

8　**石川県金比羅山窯跡**　（財）石川県立埋文センター『昭和59年度県営ほ場整備事業・県営公害防除特別土地改良事業関係埋蔵文化財発掘調査概要』1985年。

9　**京都市日ノ岡堤谷須恵器窯跡**　（財）京都市埋文研『平成７年度　京都市埋蔵文化財調査概要』1997年。

10　**滋賀県桜生７号墳**　滋賀県教委・（財）滋賀県文化財保護協会『桜生古墳群発掘調査報告書』1992年。

11　**愛知県高蔵寺２号窯跡**　巽淳一郎『記号・文字・印を刻した須恵器の集成－平成９年～11年度文部省科学研究費補助金基盤研究（C）(2) 研究成果報告』2000年。

12　**岐阜県老洞１号窯跡**　岐阜市教委『老洞古窯跡群発掘調査報告書』1981年。

13～15　**奈良県石神遺跡**　西口壽生「飛鳥諸宮の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1993』奈文研、1993年。

16　**福岡県牛頸ハセムシ窯跡**　大野城市教委『大野城市文化財調査報告書第30集 牛頸ハセムシ窯跡群Ⅱ』1989年。

17　**島根県蛇喰遺跡**　玉湯町教委『蛇喰遺跡発掘調査報告書』1999年。

18　**鳥取県福岡柳谷遺跡**　淀江町教委『福岡柳谷遺跡（上淀廃寺跡第９次調査を含む）発掘調査報告書』2002年。

19　**奈良県興福寺旧境内**　奈良県文化財保存事務所『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』1964年。

20　**島根県出雲国府跡**　島根県古代文化センター『島根県古代文化センター調査研究報告書第14　山陰古代出土文字資料集成Ⅰ（出雲・石見・隠岐編）』2003年。

21　**島根県青木遺跡**　八雲町教委『青木ゆうゆう住まいづくり事業に伴う青木遺跡第Ⅰ調査区終了報告』1996年。

22　**愛知県小針遺跡**　岡崎市教委『小針遺跡』1999年。

23　**埼玉県広町Ｂ６号窯状遺構**　鳩山窯跡群遺跡調査会・鳩山町教委『鳩山窯跡群発掘調査報告書第２冊　鳩山窯跡群Ⅱ－窯跡編（２）』1990年。

24　**茨城県堀ノ内古窯群花見堂東支群採集**　甲陽史学会『常陸国新治郡上代遺跡の研究Ⅱ』1988年。

25　**兵庫県松投１号窯跡**　兵庫県教委『兵庫県文化財調査報告第217冊　志方窯跡群Ⅱ　－投松支群－』2001年。

Ⅰ－５　漆紙文書

26頁　写真１　東北歴史博物館『東北歴史博物館展示案内』1999年、より転載。東北歴史博物館掲載許可済。

27頁　写真２

－①　平川　南『漆紙文書の研究』吉川弘文館、1989年、より転載。一部改変。東北歴史博物館掲載許可済。

②⑤　平川　南『漆紙文書の研究』吉川弘文館、1989年、より転載。一部改変。石岡市教委掲載許可済。

③　奈文研所蔵。

④　米沢市教委所蔵。掲載許可済。

Ⅰ－６　紙・筆・硯・墨

29頁　図１

－１　奈文研『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』1977年。

２　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

３　奈良県立橿原考古学研究所『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書32冊　竜田御坊山古墳　付平野塚穴山古墳』奈良県教委、1977年。

29頁　図２

－１　福岡県教委『一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第９集　徳永川ノ上遺跡Ⅲ』1997年。

２　岩手県教委『岩手県文化財調査報告書52　東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』岩手県教委・日本道路公団、1980年。

３　奈文研『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』1977年。

29頁　写真１

－１・２　正倉院宝物。宮内庁正倉院事務所提供。

29頁　写真２

－１・２　正倉院宝物。宮内庁正倉院事務所提供。

29頁　表１

－１　奈文研『平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告』1995年。

２　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告』1992年。

３　奈文研『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』1977年。

４　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第46冊　平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』1989年。

５　佐藤興治「奈良山出土の蔵骨器と墨」『奈良国立文化財研究所年報　1977』1977年。

６　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究調査報告第10冊　平安京右京三条三坊』1990年。

7　岩手県教委『岩手県文化財調査報告書52　東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』岩手県教委・日本道路公団、1980年。
8　清水町教委『清水町埋蔵文化財発掘調査報告書第４集　越前・明寺山廃寺－平安時代前期寺院址の調査－』1998年。
9　米子市教委『米子市諏訪遺跡発掘調査概報Ⅱ』1981年。
10　福岡県教委『一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第９集　徳永川ノ上遺跡Ⅲ』1997年。

31頁　図３

－１～９　**京都府隼上り瓦窯跡**　杉本　宏「飛鳥時代初期の陶硯」『考古学雑誌』73－２、日本考古学会、1987年。
10　**大阪府陶邑TK43－Ⅰ号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第33輯　陶邑Ⅴ』1980年。
11　**大阪府陶邑TG63号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第29輯　陶邑Ⅱ　－図録編－』1977年。
12～14　**大阪府陶邑TG64号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第29輯　陶邑Ⅱ　－図録編－』1977年。
15・16　**愛媛県大小谷谷窯跡**　愛媛県埋文調査センター『埋蔵文化財発掘調査報告書第22集　四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』1987年。
17　**京都府大鳳寺跡**　宇治市教委『宇治市埋蔵文化財発掘調査概報第６集　大鳳寺跡第４次発掘調査概報』1984年。
18　**群馬県上淵名遺跡**　境町教委『明神遺跡発掘調査報告書　附　上淵出土古瓦・硯調査報告』1975年。
19　**福岡県塚ノ谷窯跡**　八女市教委『塚ノ谷窯跡群　－八女古窯跡群調査報告Ⅰ－』1969年。
20・24　**大阪府桜井谷２－19窯跡**　桜井谷窯跡群遺跡調査団『桜井谷窯跡群２－19・－24　－北豊中団地建設に伴う確認調査－』1977年。
21　**福岡県向野山窯跡**　小田富士雄「豊前向野山窯跡発見の円面硯」『古文化研究』No.43、1984年。
22　**滋賀県山ノ神窯跡**　大津市教委『大津市埋蔵文化財調査報告書17　山ノ神遺跡発掘調査報告書Ⅱ』1991年。
23・48　**愛知県高蔵寺２号窯跡**　愛知県教委『愛知県古窯跡群分布調査報告（Ⅲ）　尾北地区・三河地区』1983年。
25　**三重県鈴鹿市出土**　五島美術館『日本の陶硯』1978年。
26　**前期難波宮跡**　（財）大阪市文化財協会『難波宮址の研究第十一　－前期難波宮内裏西方官衙地域の調査－』2000年。
27　**静岡県宮原古墳**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。
28　**福岡県惣利北遺跡**　春日市教委『春日市文化財調査報告書第16集　春日地区遺跡群Ⅳ』1986年。
29　**島根県松本４号墳**　島根県教委『松本古墳調査報告』1963年。
30　**福岡県浦ノ原４号窯**　春日市教委『春日市文化財調査報告書第11集　浦ノ原窯跡群』1981年。
31　**大宰府政庁跡**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和51年度発掘調査概報』1977年。
32～37　**滋賀県山ノ神窯跡**　大津市教委『大津市埋蔵文化財調査報告書17　山ノ神遺跡発掘調査報告書Ⅱ』1991年。
38　**滋賀県大津京推定地**　（財）滋賀県文化財保護協会・湖西線関係遺跡発掘調査団『湖西線関係遺跡調査報告書』滋賀県教委、1973年。
39　**福岡県荒木出土**　鏡山　猛「筑後荒木出土多脚円面硯の一例」『九州考古学』16、九州考古学会、1962年。
40　**福岡県御供田遺跡**　福岡県教委『福岡県文化財調査報告書第56集　春日御供田区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告』1980年。
41　**奈良県石神遺跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報15』1985年。
42　**大宰府住ケ元地区**　福岡県教委『福岡県文化財調査報告書第47集　大宰府史跡 昭和45年度発掘調査の概要』1971年。
43　**奈良県法隆寺大宝蔵殿**　奈文研・奈良県教委『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』法隆寺、1985年。
44　**三重県西ケ広遺跡**　三重県教委・日本道路公団名古屋支社『三重県埋蔵文化財調査報告５　日本道路公団東名阪道路埋蔵文化財調査報告』1970年。
45　**飛鳥浄御原宮跡**　奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報　1997年度』1998年。
46　**大阪府陶邑ＴＧ68号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第29輯　陶邑Ⅱ　－図録編－』1977年。
47　**大阪府陶邑ＴＧ68号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第29輯　陶邑Ⅱ　－本文編－』1977年。

32頁　図４

－49　**大阪府陶邑古窯跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。
50　**岡山県百間川岩間遺跡**　岡山県教委『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告書46　旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査Ⅱ』岡山県教委・建設省岡山河川工事事務所、1981年。
51・81　**愛知県篠岡第81号窯**　小牧市教委『桃花台ニュータウン遺跡調査報告Ⅳ 小牧市篠岡古窯址群』愛知県・小牧市教委、1982年。
52・54　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第26冊　平城宮発掘調査報告Ⅶ』1976年。

53　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

55・56　**大阪府陶邑TG70号窯跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第29輯　陶邑Ⅱ　－図録編－』1977年。

57　**愛知県高針ゴルフ場内窯跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士記念論文集』平凡社、1982年。

58　**石川県稲舟13号窯跡**　吉岡康暢「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館、1978年。

59　**岐阜県稲田山第13号窯**　各務原市教委『稲田山古窯跡群発掘調査報告書』1981年。

60・62・82　**平城京左京七条一坊十六坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第56冊　平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』1997年。

61　**平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊　平城宮発掘調査報告書Ⅵ』1974年。

63・65・72　**奈良県興福寺旧境内**　奈良県文化財保存事務所『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』1964年。

64　**愛知県鳴海32号窯**　楢崎彰一「猿投山古窯跡出土の陶硯」『陶説』83、日本陶磁協会、1960年。

66　**平城京左京三条二坊七坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

67・70　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第40冊　平城宮発掘調査報告ＸＩ』1982年。

68・80　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第17冊　平城宮発掘調査報告書Ⅳ』1965年。

69・79・83　**平城京左京五条二坊十四坪**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査報告書　昭和54年度』1980年。

71　**平城京左京八条一坊三坪**　奈文研『平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書』奈良県教委、1985年。

73　**三重県岡山２号窯跡**　四日市市教委『四日市市埋蔵文化財調査報告５　岡山古窯址群発掘調査報告　付北浦古窯址群発掘調査報告』1971年。

74　**平城京左京三条二坊一坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

75　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所10周年記念学報（学報第15冊）平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査』1962年。

76　**岐阜県長者屋敷遺跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

77　**平城京左京三条二坊東二坊坊間路西側溝**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

78　**石川県上江遺跡**　吉岡康暢「北陸の陶硯」『日本の陶硯』五島美術館、1978年。

84　**平城京左京六条二坊十三坪**　奈良県立橿原考古学研究所『奈良県遺跡調査概報　1991年度』1992年。

85　**平城京左京三条二坊一坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

86・87・89　**愛知県黒笹７号窯跡**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。

88　**愛知県折戸80号窯跡**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。

33頁　図５

－90　**愛知県猿投窯跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

91　**平城京左京八条三坊**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第26冊　平城宮発掘調査報告Ⅶ』1976年。

92　**和歌山県大日山Ⅰ遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第26冊　平城宮発掘調査報告Ⅶ』1976年。

93　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第26冊　平城宮発掘調査報告Ⅶ』1976年。

94　**平城宮SD3410**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第26冊　平城宮発掘調査報告Ⅶ』1976年。

95　**平城京左京三条二坊七坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

96　**平城京左京四条四坊九坪**　奈文研『平城京左京四条四坊九坪発掘調査報告書』奈良県教委、1983年。

97　**福岡県太宰府天満宮境内**　横田賢次郎「福岡県内出土の硯について－分類と編年に関する一考察－」『九州歴史資料館研究論集９』1983年。

98　**大宰府跡**　横田賢次郎「福岡県内出土の硯について－分類と編年に関する一考察－」『九州歴史資料館研究論集』９、

1983年。

99 **岡山県神力寺**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

100 **愛知県渥美窯跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

101 **兵庫県魚住遺跡**　寺島孝一「兵庫県明石市魚住古窯跡出土の陶硯」『古代文化』32－11、古代学協会、1980年。

102 **東京都武蔵国府跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

103 **新潟県コウモン塚**　内藤政恒『本邦古硯考』養徳社、1944年。

104 **長岡京**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

105 **茨城県北酒出遺跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

106 **愛知県折戸76号窯跡**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。

107・108 **愛知県黒笹７号窯跡**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。

109 **群馬県下五段田１号窯跡**　楢崎彰一「日本古代の陶硯　－とくに分類について－」『考古学論考　小林行雄博士古稀記念論文集』平凡社、1982年。

110 **石川県地気寺遺跡**　楢崎彰一「古代陶硯に関する一考察－有孔把手付円面硯と宝珠硯－」『名古屋大学総合研究資料報告』1、1985年。

111 **福岡県観世音寺跡**　横田賢次郎「福岡県内出土の硯について－分類と編年に関する一考察－」『九州歴史資料館研究論集』９、1983年。

112 **福岡県太宰府市国分出土**　横田賢次郎「福岡県内出土の硯について－分類と編年に関する一考察－」『九州歴史資料館研究論集』９、1983年。

113 **福岡県朝倉郡杷木町志波採集**　横田賢次郎「福岡県内出土の硯について－分類と編年に関する一考察－」『九州歴史資料館研究論集』９、1983年。

Ⅰ－７　文字瓦

34頁　図１　都内遺跡調査会瓦谷戸瓦窯跡群調査団『瓦谷戸瓦窯跡群』1999年。

35頁　図２　上三川町教委『上神主・茂原遺跡Ⅰ』1999年。一部改変。

35頁　図３　近藤康司「行基建立・和泉大野寺出土の文字瓦」『文字瓦と考古学』日本考古学協会、2000年。一部改変。

36頁　図４　京都府教委『恭仁京跡発掘調査報告　瓦編』1984年。一部改変。

36頁　図５　高野芳宏・熊谷君男「多賀城Ⅱ期の文字瓦」『研究紀要Ⅴ』多賀城研、1978年。一部改変。

Ⅱ－１　古代前期の土器

39頁　図１

－１・４・５　**奈良県古宮遺跡石組溝遺構SD50**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第31冊　飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ　藤原宮西方官衙地域の調査』1978年。

２　**奈良県豊浦寺下層**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報16』1986年。

３　**奈良県山田寺下層**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報20』1990年。

６～11　**奈良県飛鳥池遺跡灰緑粘砂層**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』1992年。

12～14・16～19　**奈良県坂田寺池SG100**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報３』1973年。

15　**奈良県坂田寺池SG100**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第31冊　飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ　藤原宮西方官衙地域の調査』1978年。

20～24　**奈良県水落遺跡基壇周辺**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第55冊　飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅳ－飛鳥水落遺跡の調査－』1995年。

25～50　**奈良県大官大寺下層土坑SK121**　奈文研『奈良文化財研究所研究紀要　2001』2001年。

41頁　図２

－１～６・12～19・21～24・26・28～33・37～40・43・44・46～54　**平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊　平城宮発掘調査報告書Ⅵ』1975年。

７～11・20・25・27・34～36・41・42・45　**平城京長屋王邸SD4750**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城

京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

42頁　図3

－1～28・30～52　**平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊　平城宮発掘調査報告書Ⅵ』1975年。

29・53･54　**平城京長屋王邸SD4750**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

43頁　図4

－1・2・4～7・17～23・25～27　**長岡京左京南一条三坊三町SD8903**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書 第13集』1984年。

3・8・11・12　**長岡京左京南一条三坊三町SD8901**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第13集』1984年。

9・10・13～16・24　**長岡宮長堂院北西官衙域SD20620**　向日市教委・向日市埋文センター『向日市埋蔵文化財調査報告書　第29集』1990年。

43頁　図5

－1～6・8　**平城京東堀河跡**　奈文研『平城京東堀河　左京九条三坊の発掘調査』奈良県教委、1983年。

7　**長岡京左京南一条三坊三町SD8901**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第13集』1984年。

43頁　図6

－1～3・6・7・11～13・17・19～21　**長岡宮北西北辺域SD19605**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第24集』1988年。

4・8・23・24　**長岡京左京南一条三坊三町SD8903**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第13集』1984年。

9・10・14～16　**長岡宮長堂院北西官衙域SD20620**　向日市教委・向日市埋文センター『向日市埋蔵文化財調査報告書第29集』1990年。

5・18　**長岡京左京太政官厨SD1301**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第4集』1978年。

22・25・26　**長岡京左京南一条三坊三町SD8901**　向日市教委『向日市埋蔵文化財調査報告書　第13集』1984年。

45頁　図7

－1～4　**鳥取県史跡大御堂廃寺跡井戸SE01掘方**　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第107集　史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書』2001年。

5～10　**鳥取県史跡大御堂廃寺跡井戸SE01埋土**　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第107集　史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書』2001年。

11～19　**鳥取県福田寺遺跡1号土坑**　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第92集　福田寺遺跡発掘調査報告書（2次調査)』1998年。

20・22・23　**鳥取県史跡大御堂廃寺跡井戸SD01**　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第107集　史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書』2001年。

21・24　**鳥取県伯耆国庁跡西方官衙地区**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次)』1979年。

25～31　**鳥取県史跡大御堂廃寺跡溝SD01**　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第107集　史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書』2001年。

32～34　**鳥取県伯耆国庁跡溝SD37**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次)』1979年。

35～38　**鳥取県伯耆国庁跡溝SD33**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次)』1979年。

39～44　**鳥取県伯耆国庁跡土坑SK05**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第4次)』1978年。

45～49　**鳥取県伯耆国庁跡溝SD39**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次)』1979年。

50・51　**鳥取県伯耆国庁跡溝SD38**　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次)』1979年。

47頁　図8

－1・2　**奈良県法隆寺南北流路SD6191**　奈文研『奈良文化財研究所史料第56冊　法隆寺考古資料』2002年。

3～8・14・15・26・27・32・33・38・40　**飛鳥京土坑SK10**　明日香村教委『明日香村遺跡調査概報 平成10年度』2000年。

9～12・16・17・20～25・28・34～37・39　**奈良県紀寺寺域東南部土坑SK10**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報18』1988年。

13・18・19・29～31　**奈良県飛鳥池遺跡灰緑粘砂層出土**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』1992年。

48頁　図9

－1～4　**平城京右京八条一坊西一坊坊間大路西側溝SD920**　玉田芳英「漆付着土器の研究」『奈良国立文化財研究所創立40周年記念論文集　文化財論叢Ⅱ』同朋舎、1995年。

5　**平城宮東方官衙**　玉田芳英「漆付着土器の研究」『奈良国立文化財研究所創立40周年記念論文集　文化財論叢Ⅱ』

同朋舎、1995年。

48頁　図10

－1・2・15　**平城京左京八条三坊九・十坪坪境小路側溝SD1155**　巽淳一郎『平城宮·京出土須恵器の分類と産地同定－平成元年～3年度科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告』1992年。

3・5　**平城京右京八条一坊十一坪西一坊坊間大路西側溝SD920**　巽淳一郎『平城宮·京出土須恵器の分類と産地同定－平成元年～3年度科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告』1992年。

4・6～14・16～19・21～23　**平城京右京八条一坊六坪土坑SK330**　巽淳一郎『平城宮·京出土須恵器の分類と産地同定－平成元年～3年度科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告』1992年。

20　**平城京左京八条一坊三坪SG3500**　巽淳一郎『平城宮·京出土須恵器の分類と産地同定－平成元年～3年度科学研究費補助金一般研究（C）研究成果報告』1992年。

49頁　写真1・2　奈文研所蔵。

51頁　図11

－1　**藤原京左京六条三坊東西大溝SD4130**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報17』1987年。

2～8　**奈良県飛鳥池遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　2000－Ⅱ』2000年。

9　**奈良県川原寺**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第6冊　川原寺発掘調査報告』1960年。

51頁　図12　図は、巽淳一郎「都城における鉛釉陶器の変遷」『天平に咲いた華　日本の三彩と緑釉』五島美術館·愛知県陶磁資料館、1998年、による。

－1～3　**奈良県興福寺旧境内**　奈良県文化財保存事務所『重要文化財一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』1966年。

4　**平城京左京八条二坊四坪**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査報告書　昭和56年度』1982年。

5　**平城京左京三条二坊八坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

6　**京都府上津遺跡**　木津町教委『木津町埋蔵文化財調査報告書　第4集』1981年。

7・8　**福岡県沖ノ島**　第3次沖ノ島学術調査隊『宗像　沖ノ島』宗像大復興既成会、1979年。

9　**京都府上津遺跡**　木津町教委『木津町埋蔵文化財調査報告書　第3集』1980年。

10　**平城宮**　奈文研『1993年度　平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1994年。

11　**平城京東市**　奈良市教委『平城京東市跡推定地の調査Ⅱ　第4次発掘調査概報』1984年。

12～14・17・19・21・30・32・34　**奈良県正倉院南倉**　宮内庁正倉院事務所『正倉院陶器』日本経済新聞社、1971年。

15　**静岡県御殿・二之宮遺跡**　磐田市埋文センター『御殿・二之宮遺跡　第8次発掘調査のあらまし』磐田市教委、1994年。

16　**新潟県八幡林遺跡**　和島町教委『和島村埋蔵文化財調査報告書第1集　八幡林遺跡』1992年。

18　**滋賀県上高砂遺跡**　大津市教委『大津市埋蔵文化財調査報告書20　上高砂遺跡発掘調査報告書』1992年。

20　**京都府西寺**　（財）京都市埋文研『平安京跡発掘資料選』1980年。

22　**平城京左京三条一坊七坪**　奈文研『平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告』1993年。

23　**京都府久世廃寺**　城陽市教委『城陽市埋蔵文化財調査報告書　第10集』1981年。

24・33　**滋賀県南滋賀廃寺**　梅原末治「正倉院尊蔵の所謂三彩釉器に就いて」『美術研究』137、美術研究所、1944年。

25　**大阪府鳥坂寺跡**　大阪府教委『大阪府文化財調査報告書第19輯　河内高井田・鳥坂寺跡』1968年。

26　**伝神奈川県登戸出土**　梅原末治「正倉院尊蔵の所謂三彩釉器に就いて」『美術研究』137、美術研究所、1944年。

27　**大阪府大職冠山**　間壁忠彦「美作津山近郊出土と伝える奈良三彩蓋付壷」『倉敷考古館研究集報20、倉敷考古館、1988年。

28　**福島県七ッ池遺跡**　江坂輝彌「郡山出土の三彩水瓶」『古美術』18－7、宝雲舎、1948年。

29　**平城京右京八条一坊十四坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第46冊　平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』1989年。

31　**伝岡山県津山出土**　間壁忠彦「美作津山近郊出土と伝える奈良三彩蓋付壷」『倉敷考古館研究集報』20、倉敷考古館、1988年。

35　**奈良県姫寺跡**　玉田芳英「平城京姫寺出土の二彩・三彩陶器」『奈良国立文化財研究所年報 1994』奈文研、1994年。

53頁　図13　図は、平尾政幸「弘仁瓷器直前の緑釉単彩陶器」『杉山信三先生米寿記念論集　平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集刊行会、1993年、による。

－1・3・4・7・10・11　**奈良県興福寺境内（一乗院下層）**　奈良県文化財保存事務所『重要文化財一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』1966年。

2・5　**奈良県大安寺苑院**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書　昭和62年度』1988年。

6・12　**京都府山城国府跡**　大山崎町教委『大山崎町埋蔵文化財調査報告第7集　山城国府跡の発掘　山城国府跡第20次

調査略報』1990年。

8　**平安京左京北辺三坊隣接地**　京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報Ⅰ　1974・75年度』1979年。

9　**長岡京右京四条二坊八町**　長岡京市『長岡京市史　資料編』1991年。

53頁　図14　図は1～4；奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『貿易陶磁　奈良・平安の中国陶磁』（財）由良大和古文化研究会、1993年。5；奈文研『奈良国立文化財研究所年報　1993』1993年。　6・7・15；江浦　洋「古代日羅関係の考古学的検討Ⅰ－何故、新羅の土器は海を渡ったのか－」『考古学論集』第4集、歴文堂書房、1992年。　8；奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報15』1987年。9；奈文研『奈良文化財研究所史料第56冊　法隆寺考古資料』2002年。その他；江浦　洋「日本出土の統一新羅系土器とその背景」『考古学雑誌』74－2、日本考古学会、1988年、による。

－1・2　**奈良県竜田御坊山古墳**　奈良県立橿原考古学研究所『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書32冊　竜田御坊山古墳　付平野塚穴山古墳』奈良県教委、1977年。

3　**伝福岡県立明寺出土**　奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『貿易陶磁　奈良平安の中国陶磁』（財）由良大和古文化研究会、1993年。

4　**三重県縄生廃寺**　朝日町教委『朝日町文化財調査報告第1冊　縄生廃寺跡発掘調査報告』1988年。

5　**奈良県石神遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　1993』1993年。

6　**大阪府大阪城三の丸下層**　（財）大阪府文化財センター大阪城跡発掘調査事務所・中村淳磯・江浦洋「大阪城発掘調査出土の新羅土器緑釉蓋と谷部出土の遺物群について」『大阪文化財研究第2号』（財）大阪府文化財センター、1991年。

7　**京都府久世廃寺**　城陽市教委『城陽市埋蔵文化財調査報告書　第10集』1981年。

8・10　**奈良県石神遺跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報15』1987年。

9　**奈良県法隆寺講堂跡**　奈文研『奈良文化財研究所史料第56冊　法隆寺考古資料』2002年。

11　**福岡県鴻臚館跡**　『九州文化シンポジュウム　いま、鴻臚館がよみがえる』西日本新聞社、1988年。

12　**大阪府大井遺跡**　（財）大阪府文化財センター『大井遺跡（2）　－調査の概要－』1987年。

13　**栃木県免の内台遺跡**　芳賀町教委『芳賀町の文化財第10集　免の内台遺跡調査概報Ⅰ』1985年。

14・15　**千葉県野々間古墳**　石井則孝「千葉県富津市出土の新羅焼土器」『史館』8、市川ジャーナル、1977年。

16　**福岡県玉城山C古墳群9号墳**　福岡県教委『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告－Ⅸ－　福岡県大野城市乙金所在古墳群の調査』1977年。

17　**福岡県玉城山C古墳群5号墳**　福岡県教委『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告－Ⅸ－　福岡県大野城市乙金所在古墳群の調査』1977年。

18　**佐賀県三郎丸古墳群2号墳**　小田富士雄「対馬・北部九州発見の新羅土器」『三佛金元龍教授定年退任記念論叢』一志社、1987年。

19　**福岡県相原古墳群2号墳**　宗像町教委『宗像町埋蔵文化財調査報告書第1集　相原古墳群』1979年。

54頁　図15

－1　**平城京左京九条三坊十坪井戸SE3755**　奈文研『平城京左京九条三坊十坪発掘調査報告』1986年。

2　**平城宮東南隅東面大垣西側溝SD3410**　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　1998－Ⅲ』1998年。

3　**福岡県海の中道遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第87集　海の中道遺跡』1982年。

4　**平城宮東大溝SD2700**　奈文研『昭和61年度　平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1987年。

5　**平城京右京八条一坊十四坪土坑SK2073ほか**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第46冊　平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』1989年。

6　**難波宮西方遺跡**　積山　洋「上町台地西縁出土の外来系土器二例」『韓式系土器研究Ⅴ』韓式系土器研究会、1994年。

7　**福岡県鴻臚館跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第270集　鴻臚館跡Ⅰ　発掘調査概報』1991年。

8　**平城京左京三条四坊十一坪**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書　昭和62年度』1988年。

9　**平城宮東院庭園跡**　奈文研『奈良文化財研究所学報第69冊　平城宮発掘調査報告Ⅳ－東院庭園地区の調査－』2003年。

10　**大宰府右郭六条一・二坊**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和61年度発掘調査概報』1987年。

11　**長岡京右京四条五坊七町**　長岡京市『長岡京市史　史料編一』1991年。

12　**福岡県沖ノ島遺跡**　第3次沖ノ島学術調査隊『宗像　沖ノ島』宗像大社復興期成会、1979年。

13　**奈良県坂田寺跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報5』1975年。

14　**平城京右京五条一坊十五坪**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書　昭和62年度』1988年。

15　**福岡県観世音寺東辺部**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和52年度発掘調査概報』1978年。

16　**平城京左京七条二坊六坪**　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書　昭和60年度』1986年。

17～19　**奈良県大安寺講堂前庭**　巽淳一郎「大安寺の土器類」『大安寺史・史料』大安寺、1984年。

55頁　図16

－1～20　**奈良県大安寺講堂前庭**　巽淳一郎「大安寺の土器類」『大安寺史・史料』大安寺、1984年。

21　**静岡県城山遺跡**　浜松市博物館『城山遺跡調査報告書』可美村教委、1981年。

Ⅱ－2　古代後期の土器

57頁　図1　図は高橋照彦「防長産緑釉陶器の基礎的研究」『国立歴史民俗博物館研究報告』第50集、国立歴史民俗博物館、1993年、による。

－1・3・5・6　**福岡県多々良込田遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第121集　多々良込田遺跡Ⅲ』1985年。

2　**福岡県長野A遺跡**　（財）北九州市教育文化事業団埋文調査室『北九州市埋蔵文化財調査報告書第24集　長野A・E遺跡調査概報』1984年。

4　**大分県野依遺跡**　宮内克己・村上久和「豊前南部および豊後出土の緑釉陶器」『古文化談叢』第20集（上）、九州古文化研究会、1989年。

7　**福岡県筑後国分寺跡**　久留米市教委『久留米市文化財調査報告書第24集　筑後国分寺跡（Ⅱ）　昭和53・54年度発掘調査概報』1980年。

8　**山口県長登銅山跡**　美東町教委『美東町文化財調査報告書第5集　長登銅山跡Ⅱ』1993年。

9　**山口県周防国府跡**　未報告。

10　**福岡県砥石山遺跡**　（財）北九州市教育文化事業団埋文調査室『北九州市埋蔵文化財調査報告書第28集　砥石山遺跡』1984年。

11　**山口県突抜遺跡**　山口県教委・山口県埋文センター『山口県埋蔵文化財調査報告書第87集　よみがえる弥生のムラ－突抜・馬場遺跡－』山口県教委、1985年。

12　**福岡県豊前国府跡**　豊津町教委『豊津町文化財調査報告書第10集　豊前国府　平成2年度発掘調査概報』1991年。

13　**福岡県寺田遺跡**　（財）北九州市教育文化事業団埋文調査室『北九州市埋蔵文化財調査報告書第70集　寺田遺跡』1988年。

14　**大宰府跡**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和56年度発掘調査概報』1982年。

15　**山口県周防鋳銭司遺跡**　山口市教委『周防鋳銭司遺跡』1978年。

16　**山口県周防国府跡**　防府市教委『防府市文化財調査年報　Ⅱ』1980年。

17　**大宰府跡**　九州歴史資料館『大宰府史跡　第30・31・32次発掘調査概報』1974年。

18　**大宰府跡**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和60年度発掘調査概報』1986年。

57頁　図2　図は高橋照彦「防長産緑釉陶器の基礎的研究」『国立歴史民俗博物館研究報告』第50集、国立歴史民俗博物館、1993年、による。

－19　**福岡県**市の上遺跡　太宰府市『太宰府市史　考古資料編』1992年。

20・22・23　**福岡県多々良込田遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第121集　多々良込田遺跡Ⅲ』1985年。

21　**山口県上嘉川遺跡**　未報告。

24　**山口県周防国府跡第74次調査G－3井戸**　未報告。

25　**鹿児島県薩摩国府跡**　『薩摩国府跡・国分寺跡』鹿児島県考古学会、1975年。

26　**山口県周防国府跡第9次**　防府市教委『防府市文化財調査年報　Ⅱ』1980年。

27　**山口県周防国府跡**　防府市教委『防府市文化財調査年報　Ⅱ』1980年。

58頁　図3

－1～9　**京都府栗栖野13号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

10～19　**京都府本山官山窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

20～29　**京都府妙満寺境内窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

30～37　**京都府栗栖野3号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

59頁　図4

－1～12　**京都府石作1・2号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

13～25　**京都府大向1・2号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

26～36　**京都府小塩1号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

60頁　図5

－1～9　**京都府前山2・3号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

10～13　**京都府黒岩1号窯**　上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。

60頁　図6

－1・2・4・9・11・14　**滋賀県山神窯**　高橋照彦「近江産緑釉陶器をめぐる諸問題」『国立歴史民俗博物館報告』第57集　1994年。

3　**滋賀県梶田窯**　高橋照彦「近江産緑釉陶器をめぐる諸問題」『国立歴史民俗博物館報告』57　1994年。

5～8・10・12・13　**滋賀県十禅寺谷窯**　高橋照彦「近江産緑釉陶器をめぐる諸問題」『国立歴史民俗博物館報告』第57集　1994年。

15～28　**滋賀県作谷窯**　高橋照彦「近江産緑釉陶器をめぐる諸問題」『国立歴史民俗博物館報告』57　1994年。

29～43　**滋賀県峰道窯**　高橋照彦「近江産緑釉陶器をめぐる諸問題」『国立歴史民俗博物館報告』57　1994年。

61頁　図7　図は、尾野善裕「灰釉陶器生産技術の系譜」『楢崎彰一先生古希記念論文集』真陽社、1998年。　2～9・14・15・16・20；上村和直「平安京周辺の施釉陶器生産」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東　施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年。　10～13・15・18～37；愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

－1　**愛知県NN265号窯**　尾野善裕「灰釉陶器生産技術の系譜」『楢崎彰一先生古希記念論文集』真陽社、1998年。

3・6・7　**平安京左京二条二坊冷泉院**　（財）京都市埋文研『昭和57年度　京都市埋蔵文化財調査概報』1984年。

2・4・5・8・9・14　**平安京右京三条三坊五町溝SD19**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊　平安京右京三条三坊』1990年。

10～13・15　**愛知県黒笹14号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

16・17　**平安京右京三条三坊**　（財）京都市埋文研究所『京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊　平安京右京三条三坊』1990年。

18・21～38　**愛知県黒笹90号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

20　**平安京左京一条三坊**　未報告。

62頁　図8

－1～12　**愛知県黒笹90号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

13～29　**愛知県亀ヶ洞1号窯**　増子康真『名古屋市熊ノ前古窯址群』名古屋考古学会、1984年。

63頁　図9

－1・2～5・8・10～13・15・16・23～26・31～33　**愛知県熊ノ前1号窯**　増子康真『名古屋市熊ノ前古窯址群』名古屋考古学会、1984年。

6・7・9・14・17～22・27～30・34・35　**愛知県熊ノ前4号窯**　増子康真『名古屋市熊ノ前古窯址群』名古屋考古学会、1984年。

64頁　図10

－1～15　**愛知県NN278号窯**　名古屋市教委『名古屋市文化財調査報告書第9集　名古屋市緑区ＮＮ－278号古窯跡発掘調査報告書』1981年。

16～24　**愛知県NN282号窯**　名古屋市教委『名古屋市文化財調査報告書第12集　名古屋市緑区ＮＮ－282号古窯跡発掘調査報告書』1982年。

25～28　**愛知県東山72号窯**　斎藤孝正「猿投窯東山地区における灰釉陶器の様相－東山72号窯出土遺物を中心として－」『名古屋大学総合研究資料館報告』3、名古屋大学総合研究資料館、1987年。

29～45　**岐阜県東濃北丘古窯跡群**　多治見市教委『北丘古窯跡群・古墳群発掘調査報告書』1981年。

65頁　図11

－1～19　**愛知県黒笹7号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

20～38　**愛知県黒笹14号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

67頁　図12

－1～23　**愛知県黒笹35号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

24～42　**愛知県黒笹90号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

68頁　図13

－1～27　**愛知県折戸53号窯**　愛知県教委『愛知県猿投山西南麓古窯跡群分布調査報告』1980年。

28～59　**愛知県NN282号窯**　名古屋市教委『名古屋市文化財調査報告書第12集　名古屋市緑区ＮＮ－282号古窯跡発掘調査報告書』1982年。

69頁　図14

－1～10　**愛知県NN282号窯**　名古屋市教委『名古屋市文化財調査報告書第12集　名古屋市緑区ＮＮ－282号古窯跡発掘調査報告書』1982年。

11～30　**愛知県東山72号窯**　斎藤孝正「猿投窯東山地区における灰釉陶器の様相－東山72号窯出土遺物を中心として－」『名古屋大学総合研究資料館報告』3、名古屋大学総合研究資料館、1987年。

71頁　図15　図は小森俊覚「輸入陶磁器と国産施釉陶器」『古代の土器研究会第3回シンポジウム　古代の土器研究－律令的土器様式の西・東－施釉陶器－』古代の土器研究会、1994年による。

－1　**平安京右京五条三坊二町溝SD01**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財調査概要　昭和63年度』1993年。

2　**平安京右京六条一坊五町溝SD019**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所調査報告書第11冊　平安京右京六条坊』1992年。

3　**平安京右京六条二坊**　『史料　京都の歴史　2　考古』平凡社、1983年。

4　**京都府西寺跡**　『史料　京都の歴史　2　考古』平凡社、1983年。

5・12・13・14～17・22　**平安京右京六条一坊五町**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所調査報告書第11冊　平安京右京六条一坊』1992年。

6～11・19～21・23～28　**平安京右京三条三坊三町SX07**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊　平安京右京三条三坊』1990年。

14　**平安京右京六条一坊**　『史料　京都の歴史　2　考古』平凡社、1983年。

18　**平安京右京六条一坊十三町ＳＸ01**　未報告

31　**平安京左京一条三坊**　『史料　京都の歴史　2　考古』平凡社、1983年。

29・30・32～38　**平安京右京二条三坊十五町**　（財）京都市埋文研『平安京跡発掘調査概報　昭和61年度』京都市文化観光局、1987年。

39～45・47　**平安京右京二条二坊三町**　（財）京都市埋文研『平安京跡発掘調査概報　昭和56年度』京都市文化観光局、1982年。

46　**平安宮西限隍23**　（財）京都市埋文研『平安京跡発掘調査概報　昭和60年度』京都市文化観光局、1987年。

48・49　**平安京左京一条三坊十一町（烏丸線）立会17**　京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報Ⅱ　1976年度』1981年。

50～52　**左京四条三坊五町SE21**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財調査概報　昭和57年度』京都市文化観光局、1984年。

72頁　図16

－1・5・6・16　**福岡県鴻臚館跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第270集　鴻臚館跡Ⅰ　発掘調査概報』1991年。

2　**平城京左京一条三坊東一坊大路側溝**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊　平城宮発掘調査報告書Ⅵ　平城京左京一条三坊の調査』1975年。

3・7・8・13・14・20・21　**福岡県柏原M遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第191集　福岡市柏原遺跡－古墳・古代遺跡M遺跡の調査』1988年。

4　**京都府浄妙寺推定地**　藤岡了一「浄妙寺出土越州窯青磁水注」『美術史』1、美術史学会、1950年。

9・12　**大宰府右郭六条二坊**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和56年度発掘調査概報』1982年。

10・11・22・23　**京都府仁和寺円堂跡**　亀井明徳『日本貿易陶磁史の研究』同朋舎出版、1986年。

15　**京都府西寺跡**　奈良県立橿原考古研究所附属博物館編『貿易陶磁－奈良・平安の中国陶磁』（財）由良大和古文化研究会、1993年。

17　**福岡県多々良込田遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第121集　多々良込田遺跡Ⅲ』1985年。

18・19　**福岡県君畑第一経済大学内火葬墓**　奈良県立橿原考古研究所附属博物館編『貿易陶磁－奈良・平安の中国陶磁（財）由良大和古文化研究会、1993年。

72頁　図17

－1　**奈良県薬師寺西僧坊跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第45冊　薬師寺発掘調査報告』1987年。

2・10　**福岡県柏原M遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第191集　福岡市柏原遺跡群Ⅵ－古墳・古代遺跡M

遺跡の調査－』1988年。

3　**中国長沙窯跡（４の参考例）**　長沙窯課題組『長沙窯』紫禁城出版社、1996年。

4　**福岡県多々良込田遺跡**　福岡市教委『福岡市埋蔵文化財調査報告書第121集　多々良込田遺跡Ⅲ』1985年。

5　**福岡県観世音寺**　九州歴史資料館『大宰府史跡　昭和56年度発掘調査概報』1982年。

6　**平安京右京二条三坊二町**　『史料　京都の歴史　2　考古』平凡社、1983年。

7　**平城京左京一条三坊東一坊大路側溝**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊　平城宮発掘調査報告書Ⅵ　平城京左京一条三坊の調査』1975年。

8　**大宰府市ノ上遺跡**　高倉洋彰ほか「観世音寺出土の唐三彩」『考古学雑誌』64－１、日本考古学会、1979年。

9　**広島県備後寺町廃寺**　広島県草戸千軒町遺跡調査研究所『備後寺町廃寺』三次市教委、1978年。

73頁　図18

－１～48　**中国上林湖Ｙ37号窯**　慈渓市博物館『古陶瓷学研究基金会叢書』科学出版社、2002年。

74頁　図19

－１～20　**平安京右京三条三坊五町溝SD1901**（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊　平安京右京三条三坊』1990年。

21～33　**平安宮左兵衛府溝SD01**　（財）京都市埋文研『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報集1978－Ⅱ　平安京跡発掘調査概報』1978年。

34～38・41～45　**平安京左京一条三坊十一町（烏丸線）立会17井戸１**　京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡　調査年報Ⅱ　1976年度』1981年。

75頁　図20　兵庫県教委『兵庫県加古川市所在　志方窯跡群―投松支群―』2001年に所載の森内秀造編年を改変。

Ⅱ－３　陶製の枡・油杯

76頁　図１

－１　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査概要報告書　昭和63年度』1988年。

２　奈良県教委・（財）建築研究協会『唐招提寺防災施設工事・発掘調査報告書』唐招提寺、1995年。

76頁　図２

－１　奈良県教委『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』1964年。

２　『大安寺史・史料』大安寺、1984年。

３　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第44冊　平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告』1986年。

４～８　奈文研『平城京東堀河　平城京左京九条三坊の調査』奈良県教委、1983年。

Ⅲ－１　瓦葺建物の復元

78頁　図１　多賀城研『名生館遺跡Ⅰ』1981年。古川市教委『宮城県古川市文化財調査報告書第８集　名生館官衙遺跡Ⅸ　－昭和63年度発掘調査概報－』1989年。

79頁　図２　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

79頁　写真１　鈴鹿市教委所蔵。掲載許可済。

79頁　写真２　奈文研所蔵。

81頁　写真３　奈文研所蔵。

81頁　図３　加茂町教委『恭仁宮（京）跡発掘調査概要　平成10年度発掘調査概報』1999年。

81頁　図４　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

81頁　図５　今泉　潔「「瓦と建物の相剋」試論－大塚前遺跡出土瓦の分析－」『研究紀要　12』（財）千葉県文化財センター、1990年。

81頁　図６　上原真人「平安貴族は瓦葺邸宅に住んでいなかった－平安京右京一条三坊九町出土瓦をめぐって－」『高井悌三郎先生喜寿記念論集　歴史学と考古学』真陽社、1988年。

Ⅲ－２　瓦の製作と分布

82頁　写真１　（財）京都府埋文調査研究センター提供。掲載許可済。

83頁　図１　高野芳宏「多賀城・陸奥国分寺の文字瓦」『文字瓦と考古学』日本考古学協会、2000年。一部改変。

85頁　表１　大橋泰夫「国衙工房の成立－下野国分寺出土瓦の分析－」『官営工房研究会会報』6、奈文研、1999年。

85頁　図２　大橋泰夫「国衙工房の成立－下野国分寺出土瓦の分析－」『官営工房研究会会報』6、奈文研、1999年、より作成。

Ⅲ－３　瓦の観察

87頁　図１　『天工開物』（平凡社）より書きおこし。

87頁　図２・３　『江戸名所図絵・下』（人物往来社）より書きおこし。

87頁　図4　　佐原　真「平瓦桶巻作り」『考古学雑誌』58－2、1972年、より作図。
87頁　写真1・2　奈文研所蔵。
87頁　図5　　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第62冊　史跡頭塔発掘調査報告』2001年。
88頁　写真3　龍野市教委提供。掲載許可済。
88頁　写真4　栃木県小川町教委所蔵。掲載許可済。

Ⅳ－1　腰帯具・銭貨・印章

91頁　図1
－1・3・5・7　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第23冊 平城宮発掘調査報告書Ⅵ 平城京左京一条三坊の調査』1974年。一部改変。
2・4・6・8・14～17　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘報告－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。一部改変。
9　**平安京**　平尾政幸「平安京の石銙生産」『銙帯をめぐる諸問題』奈文研、2002年。一部改変。
10～13　**長岡京**　木村泰彦「銅銙から石銙へ」『銙帯をめぐる諸問題』奈文研、2002年。一部改変。

91頁　写真1　講談社所蔵。『古代史復元3　古代の宮殿と寺院』講談社、1989年。転載許可済。
91頁　図2　　木村泰彦「銅銙から石銙へ」『銙帯をめぐる諸問題』奈文研、2002年。
93頁　写真2　大阪市指定文化財。(財) 大阪市文化財協会提供。掲載許可済。
93頁　写真3・4　奈文研所蔵。
93頁　図4
－1　**平安京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊　木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
2　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊　木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
3　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第56冊　平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』1997年。
4　**平城宮造酒司**　奈文研『1993年度　平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1994年。

Ⅳ－2　武器・武具

95頁　写真1・2　奈文研所蔵。
97頁　写真3・4　奈文研所蔵。
97頁　写真5　(財) 古代學協會『平安京跡研究調査報告第13輯　法住寺殿跡』1984年。転載許可済。
97頁　図1　　(財) 古代學協會『平安京跡研究調査報告第13輯　法住寺殿跡』1984年、より転載。
97頁　図2
－1～4　**京都府法住寺殿跡**　(財) 古代學協會『平安京跡研究調査報告第13輯　法住寺殿跡』1984年。転載許可済。一部改変。
5～7　**神奈川県西ノ谷遺跡**　(財) 横浜市ふるさと歴史財団『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告23　西ノ谷遺跡』1997年。一部改変。

Ⅳ－3　祭祀具

99頁　図1
－1・39・41　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第54冊　平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告　－長屋王邸・藤原麻呂邸の調査－』1995年。

99頁　図1
－2・4・6～9・13・14・16・21・22・28・32・36・40・42・43　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
3・12・20・37・38　**藤原宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
5・34　**平安京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
10・17・18・24～26・30・44・45　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
11・15・29　**長岡京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
19　**藤原京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
23　**奈良県布留遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
27　**平城京**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第56冊　平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』1997年。
31　**兵庫県上原田遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
33　**大阪府大蔵司遺跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。
35　**平城宮**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第27冊 木器集成図録　近畿古代篇』1985年。

100頁　写真1・2　奈文研所蔵。

100頁　写真３　講談社所蔵。『古代史復元９　古代の都と村』講談社、1989年。転載許可済。
101頁　写真４　奈文研所蔵。
101頁　図１　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第56冊　平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』1997年。

Ⅳ－４　工房関係遺物

103頁　図１
－１・４　**平城京右京八条一坊十三坪井戸SE1315**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第46冊　平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』1989年。
２　**岩手県稲村遺跡**　（財）岩手県埋蔵文化財センター『稲村遺跡、中田遺跡、古屋敷遺跡』1981年。
３　**千葉県花前Ⅱ－２遺跡**　（財）千葉県文化財センター『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』1985年。
５　**宮城県東山遺跡**　多賀城研『多賀城関連遺跡発掘調査報告書第15冊　東山遺跡Ⅳ－賀美郡衙跡推定地－』1990年。
６　**茨城県鹿の子Ｃ遺跡109号住居跡**　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告書第20集　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書５　鹿の子Ｃ遺跡　－遺構・遺物編－』1983年。
７～９　**茨城県鹿の子Ｃ遺跡41号住居跡**　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告書第20集　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書５　鹿の子Ｃ遺跡　－遺構・遺物編－』1983年。
104頁　図２　**平城京右京八条一坊十四坪**　奈文研『奈良国立文化財研究所学報第46冊　平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』1989年。
105頁　図３
－１～13　**奈良県飛鳥池工房跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』1992年。
14　**茨城県鹿の子Ｃ遺跡102号住居跡**　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告書第20集　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書５　鹿の子Ｃ遺跡　－遺構・遺物編－』1983年。
106頁　図４
－１　**平城京左京一条三坊溝SD485**　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　1991』1991年。
２～８　**奈良県飛鳥池遺跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』1992年。
106頁　図５
－14・24　**奈良県飛鳥池工房跡**　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　2000－Ⅱ』2000年。
１～13・15～23　**奈良県飛鳥池工房跡**　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査概報22』1992年。
107頁　写真１・２　奈文研所蔵。

Ⅳ－５　柱根

109頁　表１　島地　謙・伊東隆夫『日本の遺跡出土木製品総覧』雄山閣出版、1988年、より作成。
109頁　写真１　奈文研所蔵。
109頁　図１～３　奈文研『奈良国立文化財研究所30周年記念学報第40冊　平城宮発掘調査報告Ⅺ図版』1982年。写真は奈文研所蔵。

Ⅳ－６　建築石材

111頁　図１　京都府教育庁指導部文化財保護課『恭仁京跡発掘調査報告Ⅱ』京都府教委、2000年。一部改変。
111頁　写真１
－１～４　執筆者所蔵。
113頁　写真２
－１　奈文研所蔵。
２～７　執筆者所蔵。

Ⅴ－１　宮室

117頁　表１　岸　俊男『ＮＨＫ大学講座　日本の古代宮都』ＮＨＫ出版協会、1981年、より作成。
117頁　表２　岸　俊男『ＮＨＫ大学講座　日本の古代宮都』ＮＨＫ出版協会、1981年。
117頁　図１　奈文研『創立50周年記念　奈良国立文化財研究所史料第57冊　日中古代都城図録』2002年。
117頁　図２　奈文研ほか『奈良文化財研究所創立50周年記念　飛鳥・藤原京展－古代律令国家の創造－』朝日新聞社、2002年。

Ⅴ－２　京の成立

119頁　図１・２　渡辺信一郎「官闕と園林－３～６世紀中国における皇帝権力の空間構成－」『考古学研究』47－２、2000年。
119頁　図３　陳　博男『三禮圖』1995年、より書きおこし。
119頁　図４
－①　岸　俊男『日本古代宮都の研究』岩波書店、1988年。
②　阿部義平「新益京について」『千葉史学』９、千葉史学会、1986年。
119頁　図５　小澤　毅『日本古代宮都構造の研究』青木書店、2003年。

Ⅴ－3　大極殿・朝堂院

121頁　図1

－①　岸　俊男『ＮＨＫ大学講座　日本の古代宮都』ＮＨＫ出版協会、1981年、より作図。

②・③・⑤　林部　均『古代宮都形成過程の研究』青木書店、2001年、より作図。

④　林　博道『大津京跡の研究』思文閣出版、2001年、より作図。

⑥　編集者作成。

⑦～⑩　奈文研『創立50周年記念奈良文化財研究所史料第57冊　日中古代都城図録』2002年、より作図。

⑪　寺升初代「平安宮の復元」『平安京提要』角川書店、1994年、より作図。

121頁　図2　　岸　俊男『日本古代宮都の研究』岩波書店、1988年。

Ⅴ－4　三部世界観の成立

123頁　図1・3　奈文研『創立50周年記念　奈良文化財研究所史料第57冊　日中古代都城図録』2002年。

123頁　図2　　小澤　毅『日本古代宮都構造の研究』青木書店、2003年。

123頁　写真1～3　奈文研所蔵。

Ⅴ－5　宮内の曹司

125頁　図1

－①②　小澤　毅『日本古代宮都構造の研究』青木書店、2003年。

③④　奈文研『奈良国立文化財研究所年報　1997－Ⅲ』1997年、より作図。

⑤　井上和人「官衙配置の原型・規模・配置」『古代都城制研究集会第2回報告集　都城における行政機構の成立と展開』奈文研、1997年、より作図。

⑥⑦　奈文研『1992年度　平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1993年、より作図。

⑧　町田　章『考古学ライブラリー44　平城京』ニュー・サイエンス社、1986年、より作図。

126頁　図2　　**平城宮曹司**　奈文研『1995年度　平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1996年、より作図。

藤原宮東方官衙　井上和人「官衙配置の原型・規模・配置」（『古代都城制研究集会第2回報告集　都城における行政機構の成立と展開』奈文研、1997年）より作図。

126頁　図3　　**平城宮左馬寮**　井上和人「官衙配置の原型・規模・配置（『古代都城制研究集会第2回報告集　都城における行政機構の成立と展開』奈文研、1997年）より作図。

藤原宮（右）馬寮　井上和人「官衙配置の原型・規模・配置（『古代都城制研究集会第2回報告集　都城における行政機構の成立と展開』奈文研、1997年）より作図。

126頁　図4　　**平安宮推定復元図**　（財）古代学協会・古代学研究所『平安京提要』角川書店、1994年。

太政官図　裏松固禅「大内裏図考証」『改訂増補　故實叢書38巻　大内裏図・中古京師内外地図他』明治図書出版1993年、より作図。

Ⅵ－1　国府の空間的構成

129頁　図1　　田熊清彦「下野国府と都賀郡家」（『国分寺町史　通史編』2003年）および木村　等「下野国府跡の発掘調査について」（『古代を考える』45、古代を考える会、1987年）から合成作図。

Ⅵ－2　国府跡調査の手がかり

131頁　図1　　豊川市教委『三河国府跡確認調査報告書』2003年。一部改変。

Ⅵ－3　国庁

133頁　図1

－①～⑯　各遺跡報告書より作図。地図は山中敏史・佐藤興治『古代日本を発掘する5　古代の役所』岩波書店、1985年より作図。

135頁　図2　　三重県埋文センター『三重県埋蔵文化財調査報告　99－4　伊賀国府跡（第4次）発掘調査報告』1992年、および、山中敏史・佐藤興治『古代日本を発掘する5　古代の役所』岩波書店、1985年、をもとに新規作成。

135頁　図3

－①～⑧　三重県埋文センター『三重県埋蔵文化財調査報告　99－4　伊賀国府跡（第4次）発掘調査報告』1992年、および、山中 敏史・佐藤興治『古代日本を発掘する5　古代の役所』岩波書店、1985年、をもとに新規作成。

135頁　図4　　山中敏史『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房、1994年。

Ⅵ－4　曹司

137頁　図1　　倉吉市教委『伯耆国庁跡発掘調査概報（第5・6次）』1978年。

137頁　図2　　滋賀県教委『史跡近江国庁跡　附惣山遺跡・青江遺跡　調査整備事業報告書1』2002年、および、大津市教委『第2回惣山遺跡現地見学会資料』1997年、をもとに作成。

137頁　図３　鈴鹿市教委『伊勢国府跡４』2002年。一部改変。
139頁　図４　松村一良「筑後国府跡」『久留米市史　第12巻　資料編（考古）』久留米市、1994年。一部改変。
139頁　図５　久留米市教委『久留米市文化財調査報告書第182集　筑後国府跡－平成12・13年度発掘調査概要報告－』2002年。
139頁　図６　松村一良「筑後国府跡」『久留米市史　第12巻　資料編（考古）』久留米市、1994年。
141頁　図７　倉吉市教委『シンポジウム　「よみがえる古代の伯耆」－伯耆国庁跡と不入岡遺跡－』1995年。
141頁　図８　倉吉市教委『倉吉市文化財調査報告書第85集　不入岡遺跡群発掘調査報告書　不入岡遺跡・沢ベリ遺跡２次調査』1996年、より作図。
142頁　史料１　平川　南「出雲国計会帳・解部の復原」『国立歴史民俗博物館研究報告』第３集、1984年。
142頁　図９　加賀見省一「日高町の古代遺跡と出土木簡」『木簡学会但馬特別研究集会－古代但馬国と木簡－』木簡学会但馬特別研究集会実行委事務局、2002年。一部改変。
142頁　写真１　栃木県文化振興事業団『栃木県埋蔵文化財調査報告第74集 下野国府Ⅶ 木簡・漆紙文書調査報告』1987年、より転載。
143頁　史料２・３　林　陸朗・鈴木靖民編『復元　天平諸国正税帳』現代思潮社、1985年。
142頁　図10　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告書第20集　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書　鹿の子Ｃ遺跡　遺構・遺物編（上）』1983年。
143頁　写真２　栃木県文化振興事業団『栃木県埋蔵文化財調査報告第74集 下野国府Ⅶ 木簡・漆紙文書調査報告』1987年、より転載。

Ⅵ－５　国司館

145頁　図１
－①・③　山中敏史『古代地方官衙遺跡の研究』塙書房、1994年。
②　栃木県教委『栃木県埋蔵文化財調査報告第63集　下野国府跡Ⅵ　昭和58年度発掘調査概報』1985年。一部改変。
④　栃木県教委『栃木県埋蔵文化財調査報告第30集　下野国府跡Ⅰ　昭和51～53年度発掘調査概報』1979年。
⑤　多賀城市埋文調査センター『多賀城市文化財調査報告書第26集　山王遺跡　－第９次発掘調査報告書－』1991年。
⑥　松村一良「筑後国府跡」『久留米市史　第12巻　資料編（考古）』久留米市、1994年、および、久留米市教委『久留米市文化財調査報告書第139集　筑後国府跡・国分寺跡　平成９年度発掘調査概要』1998年。一部改変。

Ⅵ－６　国府と地割

147頁　図１　防府市教委『周防の国府跡　1970～80年代の発掘調査成果から』1990年。一部改変。
147頁　図２　防府市教委『周防の国府跡　1970～80年代の発掘調査成果から』1990年。
147頁　図３　防府市教委・周防国府跡調査会『防府市埋蔵文化財調査概要　9805　周防国府跡山升地区－第43・45・49・53・60・65・85次調査－発掘調査概要Ⅰ』1998年。
149頁　図４・５　駒見和夫「国衙の変遷から国庁を探る　下総国」『幻の国府を掘る　東国の歩みから』雄山閣、1999年。
149頁　図６・７　金田章裕「国府の形態と構造について」『国立歴史民俗博物館研究報告第63集　共同研究「都市空間の形成過程についての研究」』国立歴史民俗博物館、1995年。
150頁　図８　江口　桂「武蔵国府関連遺跡出土墨書土器の基礎的検討」『府中市郷土の森博物館紀要』15、2002年。

Ⅶ－１　郡衙の諸施設

153頁　史料１　『群馬県史　資料編４　原始古代４』群馬県、1985年。
153頁　図１　山中敏史・佐藤興治『古代日本を発掘する５　古代の役所』岩波書店、1985年。一部改変。
155頁　図２　小郡市教委『小郡市文化財調査報告書第76集　大板井遺跡』1991年。
155頁　図３　中島達也「小郡官衙遺跡」『小郡市史　第４巻　資料編　原始・古代』小郡市、2001年。
157頁　図４　新吉富村教委『史跡大ノ瀬官衙遺跡保存整備基本計画』2000年、より製図。
157頁　図５　栗東町教委『岡遺跡発掘調査報告書　１次・２次・３次調査』1990年。

Ⅶ－２　郡衙遺跡調査の手がかり

159頁　図１　高井悌三郎「新治郡郡衙跡」『茨城県史料　考古資料篇　奈良・平安時代』茨城県、1995年。

Ⅶ－３　郡庁の構造

161頁　図１
－①～⑮　各遺跡報告書より作図。巻末報告書一覧参照。
162頁　図１
－⑯～　各遺跡報告書より作図。巻末報告書一覧参照。
163頁　図１
－　各遺跡報告書より作図。巻末報告書一覧参照。

Ⅶ－4　正倉の建築構造

169頁　図1　国士舘大学文学部考古学研究室『考古学研究室報告甲種第1冊　中村遺跡調査報告書』1979年。一部改変。

169頁　図2　多賀城研『多賀城関連遺跡発掘調査報告書第13冊　東山遺跡Ⅱ』1988年。一部改変。

170頁　表2　山中敏史「古代の倉庫群の特徴と性格－前期難波宮の倉庫群をめぐって－」『クラと古代王権』ミネルヴァ書房、1991年。（渡辺晃宏「平安時代の不動穀」（『史学雑誌』98－12、山川出版社、1989年）の表3を一部改変。）

Ⅶ－5　正倉の規模と収納量

173頁　図1　山中敏史『平成12年度～平成14年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）研究成果報告書　古代の穎穀収取に関する考古学的研究』2003年。

Ⅶ－6　正倉の建物配置

177頁　図1　東京都北区教委『北区埋蔵文化財調査報告第31集　御殿前遺跡Ⅶ』2003年。

177頁　図2　中島広顕「武蔵国豊島郡衙の正倉」『郡衙正倉の成立と変遷』奈文研、2000年。

178頁　図3

－①　山中敏史「古代の倉庫群の特徴と性格」『クラと古代王権』ミネルヴァ書房、1991年。

②　鈴鹿市教委『伊勢国分寺・国府跡』3、1996年。

③　いわき市教委『いわき市埋蔵文化財発掘調査報告第72冊　根岸遺跡』2000年。

④　川崎市教委『千年伊勢山台北遺跡発掘調査説明会資料』2000年。

⑤　関市教委『関市文化財調査報告第21号　弥勒寺東遺跡』1999年。

179頁　図4

－⑥　栃木県教委・（財）とちぎ生涯学習文化財団『栃木県埋蔵文化財発掘調査報告第249集　那須官衙関連遺跡Ⅶ』2001年。

⑦　宮城県教委『宮城県文化財調査報告書第127集　亘理町三十三間堂遺跡ほか』1988年。

181頁　図5　大刀洗町教委『史跡　下高橋官衙遺跡　整備基本構想』2003年。

Ⅶ－7　正倉火災

183頁　表1　新規作成。

Ⅶ－8　館・厨家

185頁　図1　山中敏史・佐藤興治『古代日本を発掘する5　古代の役所』岩波書店、1985年。

185頁　図2　栃木県教委・（財）とちぎ生涯学習文化財団『栃木県埋蔵文化財調査報告第249集　那須官衙関連遺跡Ⅶ』2001年。

187頁　図3～5　藤枝市教委・藤枝市土地開発公社『日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財調査報告書Ⅲ　奈良・平安時代編　志太郡衙跡（御子ヶ谷遺跡・秋合遺跡）』1981年。

189頁　図6　浜松市教委『伊場遺跡発掘調査報告書第8冊　伊場遺跡遺物編6　（本文編）』1994年。一部改変。

Ⅷ－1　駅家

193頁　図1　高橋美久二『古代交通の考古地理』大明堂、1995年。

193頁　図2　龍野市教委『龍野市文化財調査報告11　布勢駅家Ⅱ　－小犬丸遺跡1992・1993年度発掘調査概報』1994年。

193頁　図3　兵庫県教委『兵庫県文化財調査報告第66冊　小犬丸遺跡Ⅱ』1989年。

Ⅷ－2　関

195頁　図1　木下　良『日本古代律令期に敷設された直線的計画道の復原的研究』國學院大學、1990年。

195頁　図2・3　柴田博子「鈴鹿関と不破関」『日本の古代国家と城』新人物往来社、1994年。

Ⅷ－3　津・泊

196頁　図1　木津町教委「上津遺跡第2次発掘調査概報」『木津町埋蔵文化財調査報告書　第3集』1980年。

Ⅸ－1　城柵

198頁　図1　多賀城市史編纂委員会『多賀城市史　第1巻　原始・古代・中世』多賀城市、1997年。石松好雄・桑原滋郎『古代日本を発掘する4　大宰府と多賀城』岩波書店、1985年。一部改変。

199頁　図2　仙台市教委『仙台市文化財調査報告書第205集　郡山遺跡21　－郡山遺跡・仙台平野の遺跡群　平成12年度発掘調査概報－』2001年。

201頁　図3

－①②③④　宮城県教委・多賀城研『多賀城跡　政庁跡　本文編』1982年。

⑤　酒田市教委『城輪柵跡　－史跡城輪柵跡保存整備事業報告書－』1998年。

⑥　八幡町教委『八幡町埋蔵文化財調査報告書第11集　八森遺跡　古代編』2002年。

⑦　秋田市教委・秋田城跡調査事務所『秋田城跡　－政庁跡－』2002年。

⑧　築館町教委『築館町文化財調査報告書第15集　伊治城跡・嘉倉貝塚』2002年。

⑨　多賀城研『多賀城関連遺跡発掘調査報告書第27冊　桃生城跡Ⅹ』2002年。

⑩ 秋田県教委・払田柵跡調査事務所『秋田県文化財調査報告書第122集　払田柵跡Ⅰ－政庁跡－』秋田県埋文振興会、1985年。

⑪ 似内啓邦・津嶋知弘「志波城発掘調査の成果」『第28回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』古代城柵官衙遺跡検討会、2002年。

203頁　図4

－① 多賀城研『多賀城跡－発掘のあゆみ－』2003年。

②～④ 生田和宏「城柵官衙遺跡における陶硯の様相－多賀城を中心として－」『古代の陶硯をめぐる諸問題－地方における文書行政をめぐって－』奈文研、2003年。

⑤ 宮城県教委・多賀城研『宮城県多賀城跡調査研究所年報1972　多賀城跡－昭和47年度発掘調査概報－』1973年、より作図。

204頁　図5　柳澤和明「桃生城跡発掘調査の成果」『第27回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』古代城柵官衙遺跡検討会、2001年。

204頁　図6　秋田県教委・払田柵跡調査事務所『秋田県文化財調査報告書第288集　払田柵跡－第113次・第114次調査概要－』1999年。

205頁　図7　今野公顕「志波城　～平成14年度調査の概要～」『第29回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』古代城柵官衙遺跡検討会2003年。

205頁　図8　築館町教委『築館町文化財調査報告書第15集　伊治城跡・嘉倉貝塚』2002年。

205頁　図9　西野 修「徳丹城発掘調査の成果」『第28回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』古代城柵官衙遺跡検討会、2002年。

205頁　図10　水沢市教委『胆沢城跡　－平成12年度発掘調査概報－』2001年。

206頁　図11　多賀城市史編纂委員会『多賀城市史　第1巻　原始・古代・中世』多賀城市、1997年。

206頁　図12　宮城県教委『宮城県文化財調査報告書第195集　壇の越遺跡ほか』2003年。

207頁　図13　多賀城市埋文調査センター『第16回企画展　古代都市多賀城』2002年。

207頁　図14　斉藤 篤「壇の越遺跡第6次調査の概要」『第29回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』古代城柵官衙遺跡検討会、2003年。

Ⅸ－2 山城・神籠石

209頁　図1　村上幸雄・乗岡　実『吉備考古ライブラリィ2　鬼ノ城と大廻り小廻り』吉備人出版、1999年。一部改変。

209頁　図3　向井一雄「古代山城研究の動向と課題」『溝濕』9・10合併号、古代山城研究会、2001年。(『甘木歴史資料館だより　温故』24（朝倉橘広庭宮展）甘木歴史資料館、1996年）を一部改変。

209頁　図4　秀島龍男「宮地岳古代山城跡－2002年3月～11月踏査報告－」『溝濕』11、古代山城研究会、2003年。

211頁　図5

－① 行橋市教委『行橋市文化財調査報告書第26集　史跡御所ヶ谷神籠石』1998年。

② 佐賀県教委『佐賀県文化財調査報告書第16集　帯隈山神籠石とその周辺』1967年。

③ 総社市教委『総社市埋蔵文化財調査年報8』1998年。

211頁　図6

－① 九州歴史資料館「大野城跡（百間石垣）の調査と環境整備」『九州歴史資料館年報　昭和49年度』1975年。

② 鬼ノ城学術調査委員会『鬼ノ城』1980年。

③ 石野義助「筑後女山神籠石」『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書　第10輯』福岡県、1935年、より作図。

211頁　図7

－① 岡山市教委『大廻小廻山城跡発掘調査報告』1989年。

② 佐賀県教委『佐賀県文化財調査報告書第16集　帯隈山神籠石とその周辺』1967年。

211頁　図8

－① 成周鐸・車勇杰『稷山蛇山城発掘調査報告書－1985・1986・1987年度発掘調査－』百済文化開発院（韓国）、1994年。

② 岡山市教委『大廻小廻山城跡発掘調査報告』1989年。

③ 中嶋　聡・向井一雄「宮地岳城跡の発見について－福岡県筑紫野市宮地岳所在の古代山城踏査報告－」『溝濕』8、古代山城研究会、1999年。

④ 嶺田町教委『嶺田町文化財調査報告書第2集　鹿毛馬神籠石Ⅱ』1988年。

Ⅹ－1 官衙関連遺跡と末端官衙

215頁　図1　井上尚明「郷家に関する一試論」（『埼玉考古学論集』（財）埼玉県埋文調査事業団、1991年）より、郷衙とは認められない遺跡を除外して作成。

215頁　図2

－① 神戸市教委『昭和62年度　神戸市埋蔵文化財年報』1990年。

②③ 奈文研『奈良国立文化財研究所学報第34冊　平城宮発掘調査報告Ⅸ』1978年。

Ｘ－２　郡衙別院

217頁　図１　吉村善雄「古代気多郡の行政区画と官道」（『気高町文化財報告書第16集　上光遺跡群発掘調査報告書』気高町教委、1988年）所蔵の挿図54を参照し新規作成。

217頁　図２　気高町教委『気高町文化財報告書第16集　上光遺跡群発掘調査報告書』1988年、より新規作成。

217頁　図３　気高町教委『気高町文化財報告書第21集　馬場遺跡発掘調査報告書』1993年。

218頁　図５　春日町歴史民俗資料館編『七日市遺跡と「氷上回廊」』2000年。

218頁　図６・７　兵庫県教委『兵庫県文化財調査報告書第75冊　山垣遺跡』1990年。

219頁　史料１　春日町歴史民俗資料館編『七日市遺跡と「氷上回廊」』2000年。

219頁　図８　春日町歴史民俗資料館編『七日市遺跡と「氷上回廊」』2000年。

Ｘ－３　末端の税穀収納施設

220頁　図１　松江市教委『下黒田遺跡発掘調査報告書』1988年。

220頁　図２　松江市教委『史跡出雲国山代郷正倉跡』1981年。

221頁　図３　上三川町教委・宇都宮市教委『上三川町埋蔵文化財発掘調査報告第27集　宇都宮市埋蔵文化財発掘調査報告書第47集　上神主・茂原官衙遺跡』2003年、および、栃木県教委『栃木県立しもつけ風土記の丘資料館　第９回企画展　古代の集落』掲載図を合成。

222頁　図４　上三川町教委・宇都宮市教委『上三川町埋蔵文化財発掘調査報告第27集　宇都宮市埋蔵文化財発掘調査報告書第47集　上神主・茂原官衙遺跡』2003年。

223頁　図５　上三川町教委・宇都宮市教委『上三川町埋蔵文化財発掘調査報告第27集　宇都宮市埋蔵文化財発掘調査報告書第47集　上神主・茂原官衙遺跡』2003年。

223頁　図６　前澤輝政編『西赤堀遺跡』上三川町教委、1976年。

223頁　図７　上三川町教委『上三川町埋蔵文化財発掘調査報告第16集　多功遺跡Ⅲ』1997年。

225頁　図８・９　中主町教委・中主町埋蔵文化財調査会『中主町文化財調査報告書　第９集　西河原森ノ内遺跡　第１・２次発掘調査概要』1987年。

225頁　史料１　中主町教委・中主町埋蔵文化財調査会『中主町文化財調査報告書第９集　西河原森ノ内遺跡　第１・２次発掘調査概要』1987年。徳網克己・山田謙吾「滋賀・西河原森ノ内遺跡」『木簡研究』８、木簡学会、1986年。辻広志「滋賀・西河原森ノ内遺跡」『木簡研究』12、木簡学会、1990年。

226頁　図10　富士市教委『東平』1981年、および同教委『富士市埋蔵文化財発掘調査報告書－第３集－　東平遺跡第３次調査』1992年の掲載図を合成。一部改変。

227頁　図11　江南町教委『江南町文化財調査告第11集　丸山遺跡』1996年。

Ｘ－４　その他の末端官衙

228頁　図１　久留米市教委『久留米市文化財調査報告書第192集　筑後国三潴郡衙跡』2003年。一部改変。

229頁　図２　久留米市教委『久留米市文化財調査報告書第192集　筑後国三潴郡衙跡』2003年、および、富永直樹「野瀬塚遺跡」『久留米市史』第12巻、資料編考古、久留米市史編さん委員会、1994年、より作成。一部改変。

229頁　図３　久留米市教委『久留米市文化財調査報告書　第192集　筑後国三潴郡衙跡』2003年。一部改変。

229頁　図４　松村一良「筑後国三潴郡の末端官衙－福岡県久留米市野瀬塚遺跡群などの調査成果から－」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって－研究集会の記録－』奈文研、1998年。

231頁　図５・７　日本道路公団・山田遺跡調査会『山田水呑遺跡　第２分冊』1977年。

231頁　図６　松村恵司「律令国家の末端支配と集落」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって－研究集会の記録－』奈文研、1998年。

231頁　図８　松村恵司「律令国家の末端支配と集落」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって－研究集会の記録－』奈文研、1998年、および、天野努「出土文字資料と地名」（『千葉県史研究』２、千葉県、1994年）より作成。

Ｘ－５　官衙補完施設

233頁　図１・２　栃木県教委・（財）栃木県文化振興事業団『栃木県埋蔵文化財発掘調査報告第222集　多功南原遺跡』1999年。墨書土器図は前澤輝政編『多功南原遺跡』上三川町教委、1985年。一部改変。

234頁　図３～５・７　沼津市教委『沼津市文化財調査報告第13集　藤井原遺跡発掘調査報告書Ⅰ　遺構編』1978年。

234頁　図６　瀬川裕市郎「御幸町遺跡」『静岡県史　資料編２　考古二』静岡県、1990年。

235頁　図８　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告ＸＩ　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』1981年。

235頁　図９　（財）茨城県教育財団『茨城県教育財団文化財調査報告ＸＩ　常磐自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』1981年、および、津野仁「遺跡からみた郷長の性格」（『太平臺史窓』10、1991年）より転載。一部改変。

235頁　図10　津野仁「遺跡からみた郷長の性格」『太平臺史窓』10、史窓会、1991年。

X－6 地方豪族居宅

237頁　図1　　いわき市教委『いわき市埋蔵文化財発掘調査報告　第72冊　根岸遺跡』2000年。
238頁　図2　　川本町遺跡調査会『百済木－くだらぎ－』2000年。一部改変。
239頁　図3・5　福島県教委『福島県文化財調査報告書第305集　母畑地区遺跡発掘調査報告36　正直C遺跡』1995年。一部改変。
239頁　図4　　菅原祥夫「陸奥国南部における富豪層居宅の倉庫群」『古代の稲倉と村落・郷里の支配』奈文研、1998年。
240頁　図6　　菅原祥夫「陸奥国南部における富豪層居宅の倉庫群」『古代の稲倉と村落・郷里の支配』奈文研、1998年。
240頁　図7　　香我美町教委『香我美町文化財調査報告書第2集　十万遺跡発掘調査報告書』1988年より製図。
241頁　図8　　葛野泰樹「滋賀県長畑遺跡」『日本考古学年報』36（1983年度版）、1986年。
243頁　図9～11　松江市教委『芝原遺跡』1989年。一部改変。
244頁　図12　　若宮町教委『若宮町文化財調査報告書第7集　下遺跡群』1989年。
245頁　表1　　山中敏史・石毛彩子「地方豪族の居宅と稲倉」（『古代の稲倉と村落・郷里の支配』奈文研、1998年）掲載の表1を改訂。